

お天気解説 アキラのズバツと

打ち水の効果

令和8年8月14日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

暑い日が続くと体もSOS…。でも、ちょっとした夕立の後、爽やかな涼風が吹いてさっぱりしますね。

さて、店の前などでは時々「打ち水」をしているのを見かけます。打ち水とは、道路や庭先に水を撒くことです。暑さをやわらげたり、ほこりが立つのを防いだりするために、昔から行われてきた日本の風習です。私が幼い頃は、よく道路のあちこちに水が撒かれていたのを覚えています。

水は蒸発する時、周囲の熱を奪います。水は熱を奪って水蒸気になるのです（この熱のことを気化熱と云います）。熱を奪われた空気は温度が下がります。蒸発が続けば気温がもっと下がります。

夏の暑い昼間に打ち水をすると、道路に撒いた水が一気に蒸発します。蒸発が進むほど気温が下がるので、昔の人は打ち水をして店の前を涼しくしてお客さんを迎えたのでしょうか。

この仕組みを利用したのが冷風扇です。冷風扇は、水で濡れたフィルターに風を当てることで水を蒸発させ、温度の下がった風を利用者に与えるものです。ヒートポンプの仕組みで熱を外に出すエアコンや冷蔵庫とちがって、電気をあまり使わずに冷たい風を得ることができます。ただ、部屋全体を冷やすほどの効果にはならず、水蒸気が増えてしまうと湿度が上がってしまいそうです。でも、自然の力で温度を下げることはエコとして素晴らしいことです。

最近は打ち水をイベントとして行うこともあちこちで増えています。夏の暑い日に、熱くなった道路に打ち水をすることで涼しさを実感できます。8月下旬はまた猛暑がぶり返しそうなので、こんな時にこそ打ち水を確かめるのもよいでしょう。



2026年08月14日11時 気象庁 発表

日付		今日 14日(金)	明日 15日(土)	明後日 16日(日)
東京地方		曇時々雨 	曇一時雨 	曇 
降水確率(%)		-/-/80/70	60/30/20/20	30
信頼度		-	-	-
東京 気温 (°C)	最高	29	30	30 (28~31)
	最低	-	23	22 (21~24)

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

土日は雲の多い天気になりそうですね。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。